

女性をテーマとした 国民生活白書が 初めて 出されました——



11月5日 朝刊を(朝日新聞) 読めば思わす息のひだ! ↓

97国民生活白書

◎ 私達女性が 30年以上前
から 訴えつづけてきた事だ。
女も男も人間として生かされる
社会を作ろう と、どんなに望み来
たことか——。

経済が失速し、
世代間負担の年金制度が
劣化社会になって破れかけて
ふややく。

政府は この事に気が付いたのだ。
おそろざる。今迄、何を見えていたか。
女性の声に耳を貸さなかった年月の
おくれを、どうしてくゆるのだ。と思いつつも

この内容に 明日への希望をかりおろつたという
気持ち が動いているのだ。

「男性中心」仕組を壊さよう

一九九七年度の経済在野党が出した「国民生活白書」！
あの、日本のお役所が、女性にやさしい社会に
なると書いた。

女性が進むやすい社会に

国民生活白書
環境整備訴える

国は、女性の進出を促すために、環境整備を訴える。女性の進出を促すために、環境整備を訴える。女性の進出を促すために、環境整備を訴える。

保育所充実や税制改正を

逐次刊行物

平 10.2-4 歳

国立婦人教育会館
婦人教育情報センター

男女平等なんていわせない「白書」が語る 女・残酷物語…

そこには 現在の女性をとりまく無残な数字が並べられ

① 賃金格差

再就職も
6300万円損

男性の賃金を100とした時の女性の賃金は

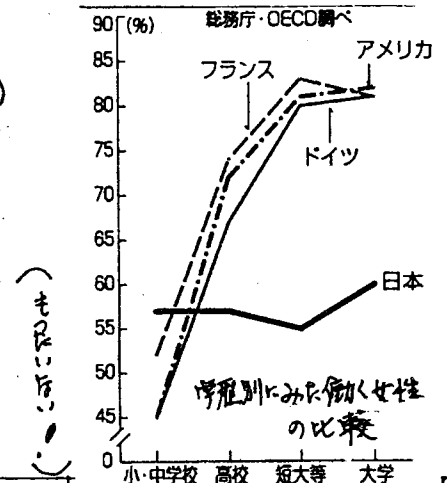
フランス 80.8
米国 75.5
ドイツ 74.2
英国 71.2

そして
日本 56.1(1970年)
63.5(1996年)

この上
働けず
4400万円の差
中断すれば
6300万円の差
損失率は8割

これは企業の
フトコロに？

② 高度能力を生かせず



女をパートタイマーにしている犯人は「税・年金」よ、「能力」じゃない。

税・年金

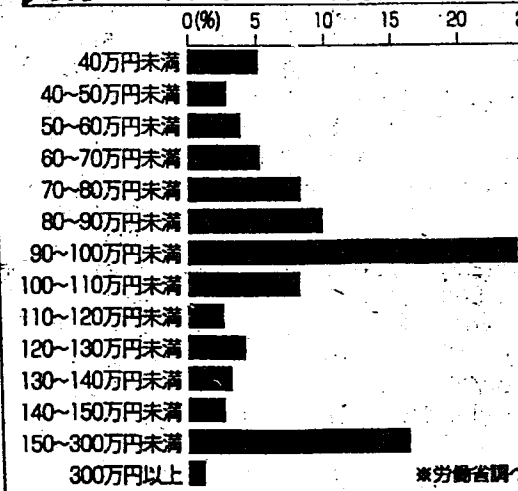
③

不満・不公平を助長

夫は専業主夫、妻は専業主婦という役割分担を前提とした税・年金制度が働く女性を苦しめている。パートタイム労働の賃金は夫の扶養家族とされる範囲に収められている。これはパート労働の低賃金化を助長し、フルタイムで働く人々の賃金を低くおさえるかたになっている。

そして年金保険料を払っている女性と払わない専業主婦が同じ年金額なのだ。女性が働くことで得る社会的な利益が「このグラフ」でよくわかる。

▶ 女子パートタイマーの年間収入別の分布

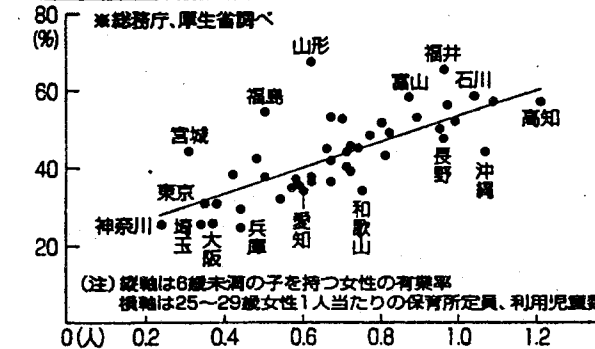


女の足をひっぱるのは どの世も 大きな子ども(男)と小さな子ども

「早期・延長」に課題

保育環境

▶ 子を持つ女性の有業率と保育所整備の関係



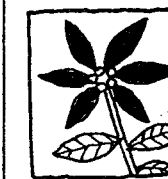
施設が充実している県ほど働く女性の比率が高い。
保育所は1日8時間の保育を標準としているので、
1日8時間勤務で通勤時間を考えると、とても
8時間内で子どもを預けに行くことができない。

社会システムの整備で

もっと活用できる

— 女性の労働力 —

それが21世紀を支えるのよ。



さて—— 女性の労働力
「国民生活白書」は現実をこうして
グラフで記述したわけだが

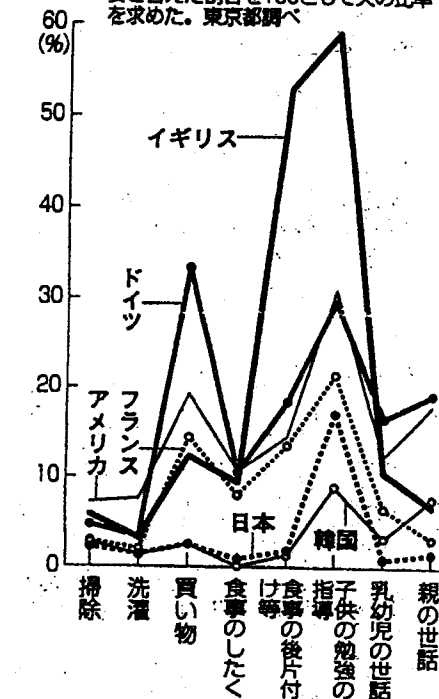
それで、お終り——ではもう私達の
国に未来はないと思う。

女性が働きつづけるための仕組みを整備を、そして
働きつづける家族を持つ、特に子供を持つための
環境整備を、ロビー活動し、家庭の中にも男が参入する。
運命は変わる。

共働き夫婦は「家事を引き受けるつもりはない」と
51.5%が答えている。

▶ 国際比較にみる夫の家事負担

(注) 主にだれが受け持っているかを質問し、
妻と答えた割合を100として夫の比率
を求めた。東京都調べ



夫の家事負担ぐんと増える

「男は仕事、女は家庭」という考え方に
同感すると答えた割合が、87年から95
年にかけて、女性では38.6%から22.3%
へ、男性では51.7%から32.9%へと減っ
ている。男女の役割分担の意識が変わっ
てきた。

ところが、現実には男性が家事をしてい
る割合を、国際的に比較すると、日本は
韓国と並んでぐんと低い＝グラフ参照。

…でも見て!
これが今の
現実です。

宮崎県都城市・獣医師
沖田 有里・27歳

私って不幸

会的責任に対する甘えも、常に残るめ
たさとしてつきまとっている。

いっそ仕事を辞め、「かわいなお嫁
さん」になってしまえたら。私の不幸
は、それを当たり前に思えないことで、
男に生まれなかったことだ。

この不滴の根本にあるものは、本當に日常の細々としたことなのか、それとも自分の存在の仕方が見えてこない不安からなのか。

夜8時すぎ、犬の散歩をさせながら顔の真ん中が痛いの気付いた。
あれ、泣きそうになっているのかな。さっきまでは相当怒ってたのに。
どうして私が、仕事の後に料理作って、洗濯して掃除して、犬の散歩までしなきゃいけないの？ どれか一つくらいやってもらわなきゃ、気が済まない。
本当なら、「お疲れさま」の一言と笑顔で迎えなきゃいけないはず。散々怒った揚げ句、最後は悲しくなってしまったようだ。自分の中の悪魔に心を占領された後の情けなさといった感じ。

夜8時すぎ、犬の散歩をさせながら顔の真ん中が痛いのに気付いた。あれ、泣きそうになっているのかな。さっきまでは相当怒ってたのに。

夜8時すぎ、犬の散歩をさせながら顔の真ん中が痛いのに気付いた。

あれ、泣きそうになつてゐるかな。さうきま
では相当怒つてたのに。

「どうして私が、仕事の後に料理作って、洗濯して掃除して、犬の散歩までしなきゃいけないの? どれか一つくらいやってもらわなきゃ、気が済まない!」

本當なら、「お疲れさま」の一言と笑顔で迎へなきやいけないはず。散々怒った揚げ句、最後は悲しくなってしまったようだ。自分の中の悪魔に心を占領された後の情けなさといった感じ。

この不調の根本にあるものは、本当に
日常の細々としたことなのか、それとも
自分の存在の仕方が見えてこない不安か
らなのか。

私って不幸

「女は家事育児をするものだ」、いや「女も男と対等に仕事をするべきだ」という二つの価値観の中で、どっちつかずのまま流されている。女であるが故の杜

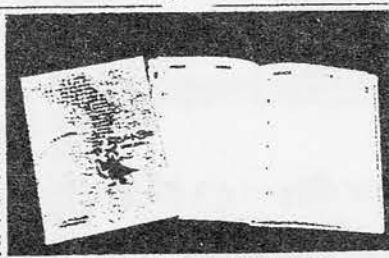
会的責任に対する甘えも、常に後ろめ
たさとしてつきまといっている。

いっそ仕事を辞め、一かわいいお嫁さん」になってしまえたら。私の不幸はそれを当たり前と思えないことと、男に生まれなかったことだ。

{女のノート}
3年

[illegible]

子育てなどのサイクルに着目、同じ日付が同じページに

[illegible]

ばってん・うーまんが作った「女のノート3年」

緩ソまじょう。自分を！世界を！女たちを！